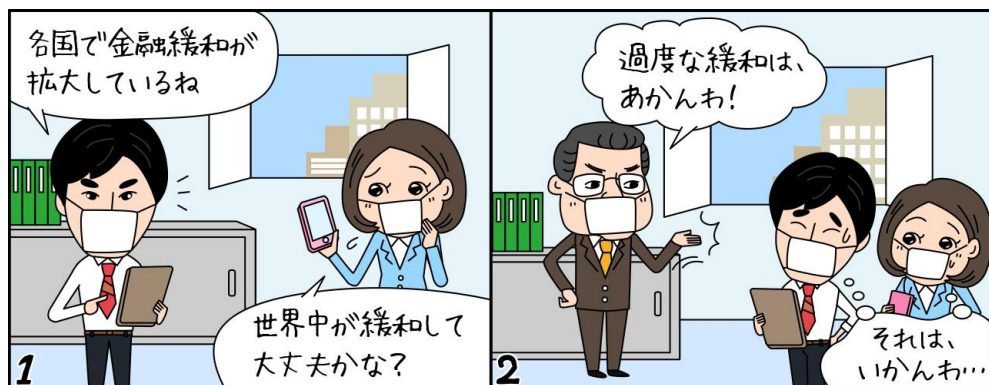


「新人目線」の用語解説

語句よみ

第222号



今回のテーマ 国の金融政策を定める「金融政策決定会合」

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

中央銀行による金融政策は、金融市場安定のために非常に重要なものであり、株式市場や為替市場などに大きな影響を及ぼします。今回は日本の「金融政策決定会合」と米国の「FOMC」について調べてみました。

1. 金融政策決定会合

「金融政策決定会合」とは、金融市場の調整方針や預金準備率、政策の手段など、金融政策の運営について審議・決定する会合のことを指します。

中央銀行である日本銀行（日銀）が原則として年8回開催し、参加メンバーは「日銀総裁・副総裁2名・審議委員6名」の計9名で構成されています。会合での決定内容は市場に与える影響も大きく、マーケットでの関心は非常に高いものとなっています。

2010年の金融政策決定会合では、金融緩和の手段として、日銀による資産（国債や社債、ETF、J-REITなど）の買入れが発表され、現在も継続されています。

2016年1月には、民間金融機関が日銀に預ける当座預金の一部にマイナス金利を適用する、「マイナス金利政策」が導入されました。同政策は、金融機関による貸出しや投資を増加させ、経済活性化や物価上昇につなげることを目的としています。

2020年4月の会合では、新型コロナウイルスによる金融市場の混乱への対策として、追加の金融緩和策が発表されました。

ステップアップ

日銀による金融市場調整手段の1つに、オペレーション（公開市場操作）と呼ばれるものがあります。日銀が市場から債券などを購入するオペレーションを「買いオペレーション」といい、市場に資金を供給することによって、金利を低下させる効果が期待できます。



（次のページへ続きます）

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目録見書）をご覧ください。

柱の1つは、「日銀が購入する国債の規模の見直し」であり、これまで「年間80兆円」としていた購入額のめどを撤廃しました。必要な額を制限なく購入可能とし、長期金利を安定させることを目的としています。また、社債やETFなどの買入れ額の大幅な増額や、企業の資金繰り支援に向けた貸付体制の強化など、様々な施策を発表しています。

新型コロナウイルス感染拡大による経済の先行き不透明感が高まる中、日銀による金融政策には今後も大きな関心が集まると考えられます。

2. FOMC(連邦公開市場委員会)

「FOMC(Federal Open Market Committee)」とは、米国の金融政策を決定する委員会のことを指します。

米国の中央銀行の役割をもつFRB(連邦準備制度理事会)が原則として年に8回開催し、参加メンバーは「FRB理事7名(議長・副議長を含む)・地区連邦準備銀行総裁5名」の計12名で構成されています。FOMCでは政策金利であるフェデラルファンド(FF)レートの誘導目標など、米国の金融政策を決定します。

2007年以降、世界金融危機による景気悪化に対応するため、政策金利引き下げなどの金融緩和政策をとっていましたが、米国経済の回復を受け、2015年12月に開催された会合において、およそ9年半ぶりに政策金利の引き上げを決定しました。

しかし2019年7月の会合では、米中摩擦などを背景に世界経済の成長鈍化懸念が高まったことなどに対応するため、2008年12月以来、10年7ヵ月ぶりとなる政策金利の引き下げを行ないました。足元では、新型コロナウイルスの感染拡大による経済環境悪化に対応するため、FFレート誘導目標を0.00-0.25%とする実質的なゼロ金利を導入したほか、米国債やMBS(住宅ローン担保証券)の買入れ額を無制限とするなど、金融緩和政策が一段と推し進められています。

2020年4月28-29日に開催されたFOMCでは、金融緩和政策の維持を決定したほか、会合後の議長の会見では、「経済を支えるため、あらゆる手段を用いる」、「当面はゼロ金利を維持する」などの発言があり、経済の下支えに向けた運営が行なわれています。景気の先行きへの不確実性が高まっている中、今後のFOMCの動向に注目が集まっています。

各国の金融政策は、株式市場や為替市場などの金融市場に大きな影響を及ぼすことから、注目度も高く、相場を見るうえで重要なキーワードになりそうです。

ステップアップ

FRBが政策運営を行なう上で重視しているのが「物価の安定」と「雇用の最大化」であり、これらは「デュアル・マンデート(2つの責務)」と呼ばれています。毎月発表される米国雇用統計は、雇用情勢を測る上で重要な指標であり、FRBの金融政策にも影響を及ぼすと考えられることから、市場の関心も非常に高くなっています。



facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。